



ともしび

— TO MO SI BI — 第351号

2025(令和7)年7月号

「梅雨明け早くない?」

梅雨明けが待たれる今日この頃、皆さんいかがお過ごしですか。さて、西日本は早くも梅雨明けしたとみられるようですね。

一九五一年の観測統計開始以来最速の地域もあり、近畿地方は初めて六月中に梅雨明けしたとか。

例年、梅雨は、四〇日位ですが、今年は各地二十日間前後で梅雨明けのようです。しかも関東は、雨もあまり降らず「空梅雨」という印象。勝手なもので、空梅雨だと「もっと雨が降ってほしい」と思い、降ったら降ったで「早く梅雨明けしてほしい」と思ってしまう。

そんな自己中心を離れられない我々を救うために阿弥陀如来が現れてくださったのだということ、梅雨明け間近の空を眺めながら改めて感じております。

仏事のおさらい

お鈴(リン)を鳴らす意味

テレビドラマなどでお仏壇に向かって合掌するとき、チン♪チン♪とお鈴(リン)を鳴らしているシーンを見かけますね。

この影響なのかは分かりませんが、お仏壇にお参りする時には、置いてあるお鈴(リン)を必ず鳴らすものだと思っている人が多いようです。

しかし、浄土真宗ではお鈴(リン)は、お勤めの始まりや終わりの合図に鳴らすもので、それ以外の時には鳴らしません。

以前、ご門徒さんのお宅にお参りした際に、お家の方がお鈴(リン)を鳴らされたので「今日は〇〇さんがお勤めしてくださるのですね」と言ったら「え?」と

驚かれたことがあります。どうやら、神社で鈴を鳴らして神霊の発動を願うのと同じように「仏さん出てきて」という感じで鳴らすと思っていたようです。さらに続いて「お勤めはお坊さんの役目じゃないですか。」と言われたときにはさすがにズッコケそうになりました。

もちろん、僧侶はお勤めをしますが、僧侶がいなくてもお家の方が日頃からお経に親しみ、お勤めができるようになってほしいものです。その手がかりとして東久留米分院では年に何回か、常例法座に併せて「お勤め勉強会」を開催しています。開催予定は寺報でもその都度お知らせいたしますので、是非ご参加ください。最初のうちは少し難しく感じるかもしれませんが、繰り返し唱えているとそのうちスラスラ唱えられるようになりますよ!

6月の東久留米分院の様子

常例法座・奉讃会総会 ご講師:遠山 泰範 師(静岡県 寶専寺)

6月8日(日) 午後1時～

当日は、20名の方が常例法座と総会に参加くださいました。皆さん、法座も総会も本当に熱心に参加してくださり、講師の遠山先生も「皆さん、お話に反応してくださるのでとても話しやすかった」と仰っておりました。また、今年は新本堂建立30周年だったので奉讃会から胡蝶蘭をいただきました。ありがとうございました！



胡蝶蘭を飾ってお祝いのお勤め



遠山先生、味わい深い法話でした！



総会終了後に記念撮影！

その他のお知らせ

奉讃会からのお知らせ

【奉讃会費納入について】

奉讃会は、仏法聴聞の場である東久留米分院が、いつまでも温もりのある、お参りしやすいお寺であり続けられるよう護持発展に協力することを目的に活動する団体です。奉讃会の活動は、すべて会員各位からの会費、寄付金により運営されています。

つきましては、2025（令和7）年度の会費並びに寄付金を下記の方法にて
8月31日迄にご納入いただきますようお願い申し上げます。

会長 熊谷 武

※新たに入会を希望される方は、東久留米分院にご連絡ください。

- | | | |
|--------|---------------------|--------|
| 1. 金 額 | ① 2025（令和7）年度奉讃会費 | 3,000円 |
| | ② 2025（令和7）年度奉讃会寄付金 | 金額任意 |

※寄付金は任意でございますが、より良い会の運営を行うためご協力ください。

※門徒式章が必要な方は、用紙の通信欄に記載し、金額を増額訂正ください。

（式章は一領 3,000円）

2. 納入方法 ①郵便振替

東京 00160-2-550707 築地本願寺東久留米会館奉讃会
（同封の振替用紙にて郵便局よりご送金下さい。）

②銀行振込

りそな銀行 東久留米滝山支店 普通預金 No.3779346
銀行コード0010 支店コード783 口座番号 3779346
口座名義 築地本願寺東久留米会館奉讃会

また、お手数ですが納入の内訳が分かるように、同封の振替用紙に
金額記載のうえ、東久留米分院まで郵送ください。

③現 金

現金書留に現金・振替用紙を同封のうえ、東久留米分院へ郵送
又は、法要等の折に、ご持参下さい。

※いずれの納入方法でも、内訳が分かるよう、振替用紙通信欄は必ずご記入
ください。

▶ 7月の行事予定

奉仕活動

7月6日(日) 午前8時頃～

毎月第一日曜日の晨朝勤行(朝のおつとめ)の後、
有縁者の皆様で奉仕活動を行っています。
皆さまのご参加お待ちしております。

常例法座(仏様のおはなし)

お勤め勉強会

7月13日(日) 午後1時～

ご講師: 稲木 義成 師(栃木県 観専寺)

勉強会: 伊藤主管

仏さまのお話を、やさしく・わかりやすくお話くださ
います。是非お越しください。
法話に続いて、お勤め勉強会を開催します。
こちらも、是非ご参加ください。

▶ 8月の行事予定

盂蘭盆会・永代経法要

8月11日(月祝[山の日])

午後1時～

ご講師: 白川 憲仁 師(東京都 正法寺)

お盆のことを正式には盂蘭盆会(うらぼんえ)と
言います。
法要の後の法話では、お盆や、仏さまのお話を、
やさしく・わかりやすくお話くださいます。
ご一緒に大切な方をお偲びいたしましょう。

東久留米会館会報「ともしび」
通 刊 351号
発行日 2025年7月1日
発行者 伊藤 法友
住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電 話 042-474-6787

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただき
ありがとうございます。
さて、巻頭では「梅雨明けが待たれる」
と書きましたが、この寺報が皆様のお手
元に届くころには、関東も梅雨明けして
いる可能性が高いです。
そうなると、続いてやって来るのは、
猛暑・酷暑の日々。水分補給・エアコンの
適切使用を心がけ、体調に気をつけまし
ょうね！ 我慢は絶対ダメですよ！

先月のご進納

【お仏飯米】

神谷 正弘 様

近藤 敏之 様

(順不同)

誠にありがとうございました。